

# コンゴ民主共和国「柔道スポーツ施設建設計画」

2018年5月～2022年12月



完成した柔道スポーツ施設(外観)

## 背景/課題

コンゴ民主共和国では、柔道と空手がサッカーと並んで人気のあるスポーツである。首都キンシャサには約200の柔道クラブがあり、競技人口は全国では推定7,000人に上る。しかし、公共スポーツ施設は主にサッカー、陸上競技用に建設された国立スタジアム等に限られており、柔道や空手等を行える屋内競技施設はない。そのため、柔道を始めとする屋内スポーツの競技会開催や運営が困難な状況にある。

## 目的

- 柔道スポーツ施設の建設を通じて、同国内のスポーツ振興及び青少年育成が促進される。
- 同国の平和の定着に寄与する。

## 活動内容

- 柔道・武道を中心とした多目的スポーツ場を建設し、スポーツ場に付随する機材を提供した。
- 詳細設計、入札補助、施工・調達監理、運営維持管理に関する支援を実施した。

## 成果

- 柔道スポーツ施設は2022年12月完工した。2023年8月にキンシャサで開催された「フランス語圏競技大会」では、卓球競技の会場などに活用され、多くのフランス語圏のスポーツ選手により利用された。
- 国家警察やコンゴ民主共和国柔道連盟による柔道の練習など、官・民双方から幅広く活用されている。